

ドーピング まめちしき!

Vol.13

嶋元医院 院長 嶋元 徹

ドーピング検査を行う検査員(DCO)の経験者

【まとめ】どんな検査を受けるの？

これまで5回にわたってドーピング検査の方法を紹介しました。
不安なまま検査を受けるのではなく、ポイントをしっかり押さえて、検査を受けるようにしましょう。

1

通告・待機

DCO から検査通告を受ける。必ず相手の身元を確認して、選手自身の顔写真付きの身分証明書を提示する。通告を受けてから検査室に入るまでは、DCO の目の届く範囲で行動する。

2

採尿カップ 取扱い

尿意を催したら、3つ以上の採尿カップから1つを選ぶ。カップを選ぶ際は袋の密封や破損状態、混入物がないかなどを確認する。採尿カップは開封からサンプルキットに入れて封をするまで、自分以外の人物に触らせないこと。

3

検体採取

同性の DCO の立会いのもと、トイレで採尿。ズボンなどはしっかり下ろし、検体が選手の体から直接出ていることがわかるようにする。恥ずかしがらずに堂々と行動する。採尿後は速やかに蓋をして、採尿カップを DCO から隠すような行為はしない。

4

分注・封印

3つ以上のサンプルキットから、1つを選び、開封された形跡やキズ、汚れがないかを確認し、検体を A+B 二つの検体用ボトルに分注して、しっかりとキャップを閉める。検査員の指示に従って、焦らず慎重に。

5

尿比重 署名

尿比重が規定値を満たしていない場合には、検体の採り直しが求められる。公式記録書には7日以内に使用した薬やサプリメントを申告し、個人情報や記載事項に間違いが確認し、署名をする。